

未来を担う子どもたちに夢と希望を！

山形県教育委員会

子どもたちも素敵先輩たちも、皆さんを待っています！

高橋 恭祐 先生（令和5年度採用・小学校教諭）



子どもを成長させるだけでなく、子どもの純粋さに触れ、言動や考えから多くのことに気づかされ、共に成長していくことができる仕事です。一緒に楽しんだり悩んだり、様々な感情を共有できる魅力があります。

私の勤務校では、毎週金曜日に授業の振り返りの時間を設けています。そこで普段の授業の悩みを率直に話し合い、授業改善に取り組んでいます。

年齢に関係なく、遠慮せずに話せる関係性から生まれた同僚との連帯感が、日々の大きな支えになっています。

思うようにいかない日もありますが、子どもたちのエネルギーで自然と前向きになれる。

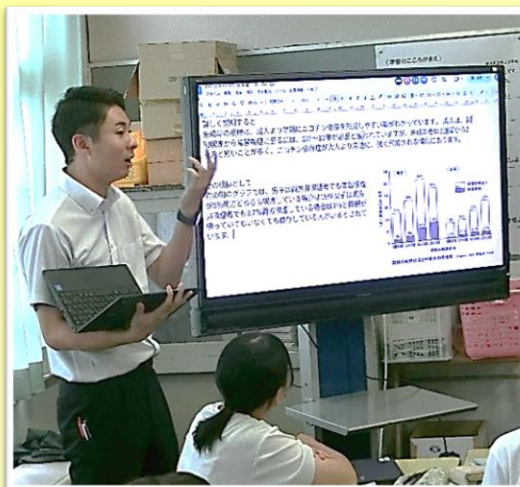
みなさんのチャレンジを心から応援しています。

井上 真純 先生（令和6年度採用・中学校教諭(保健体育)）

中学生は、心も体も大きく成長する時期で、日々の授業や活動、行事の中で目覚ましい変化を見せてくれます。そんな中、思い通りにいかない日もあり、授業がかみ合わなかったり、生徒との関わりに悩んだりすることもあります。

それでも、授業での工夫や生徒へのアプローチを考え、実行することで、ほんの少しの変化や成長、「できた！」の瞬間に立ち会えると、やる気が湧き、前へ進む力となります。

また、教育事務所・市教委の先生方や同じ学校の先生方からたくさん支えてもらい、これまでの経験からのアドバイスや悩みの相談に応じてもらえるので、とても働きやすく、成長できる環境です。ぜひ一緒に生徒たちを支え、そして山形県の未来を創っていきましょう！



早川 さくら 先生（令和5年度採用・高等学校教諭(地理)）



「地理は面白い！と思う人を増やしたい」そんな想いで高校の地理教員になりました。どうしたら興味関心を引きつつ地理的思考力を身につけられるか考えるのは想像以上に大変ですが、自分の好きなことをスキルアップさせられるのでとても楽しいです。また、現場にいて初めて教員のやりがいに気づけました。生徒の成長を感じた時、「わかった！」と授業で反応してもらえた時、「来年も先生の授業を受けたいです」と言ってもらえた時、もっと生徒のために頑張ろうと思えます。教育には不正解があっても正解がありません。生徒一人一人と向き合い、考え、時に悩みながら、共に正解を

模索して成長できることが教員の魅力だと感じます。これからの予測困難な未来を切り拓き生き抜いていく人づくりを、山形県で一緒にしませんか？一緒に働けることを楽しみにしています！

赤間 宏太郎 先生 (令和4年度採用・特別支援学校教諭)

学生時代、私に対して熱心に向き合ってくださった先生がいます。その時感じた憧れが「生まれ育った山形県で教員に！」という強い力となり今の私がいます。

特別支援学校で教員になり感じることは、目の前の子どもに関わる方がたくさんいるため、合意形成を図ったり情報を共有したりすることが大切だということです。悩んだ時にはいろいろな先生方のアイデアやアドバイスを聞くことができます。そうすると「こんな考えもあるんだな。」「なるほど！」と感じて、日々成長している気がします。子どもたちにも自分と同じように自分で考え行動し「わかった！楽しい！」と感じてもらえる授業づくりを心掛けています。また、子どもたちの成長やできることが増えた場面に立ち会えるとやりがいを感じます。

ぜひ一緒に未来を担う子どもたちを育てる仕事をしましょう。



伊藤 陽奈恵 先生 (令和2年度採用・養護教諭)



小学校では、子どもたちの「できた」の聲がたくさん聞こえ、何事にも挑戦し成長していく姿を間近で見られることに、喜びを感じます。

私は、子どもの変化やサインに気付けるように、校内の見回りをしています。休み時間は子どもたちのありのままの姿が見られるため、子ども同士のかかわりなどを見て日頃の様子を把握するようにしています。けがの手当てや悩みの相談、「次は何の授業？」などの何気ない会話の後、「ありがとうございました」と言って笑顔で教室に戻る子どもを見ると、養護教諭としてのやりがいを感じます。

子どもたちの心身の健康のために適切な見極めや判断力が求められる仕事ではありますが、子どもたちや保護者の方々、周りの先生方に支えていただきながら毎日楽しく過ごしています。山形県の未来を担う子どもたちと一緒に育てていきましょう！

佐藤 茉央 先生 (令和3年度採用・栄養教諭)

給食は、子どもたちの心身の成長と、食に関する知識を身につける上でとても大切な時間です。そのなかで、栄養教諭として、子どもたちが食を楽しむための知識や経験をえられるよう、給食の献立作成や指導に日々励んでいます。

子どもたちから、「今日の給食おいしかったよ」「苦手だけれども食べられたよ」「先生の授業、楽しみだな」という言葉を聞くと、栄養教諭としてのやりがいを感じています。これからも、一人ひとりに寄り添った指導を行うことで、子どもたちが健康に過ごせるような大人になることを願っています。山形県には、おいしい食べものがたくさんあります。それらを生かした給食を教材とし、いっしょに山形の未来を拓いていく子どもたちを育てていきましょう！



教員選考試験に関する問合せ先

山形県教育局教職員課

電話 023-630-3406(教員採用担当)

もっと知りたい！ という方は山形県のホームページ、教員採用 X(旧 Twitter)をご覧ください



山形県ホームページ
(教員選考試験)

教員採用 X(旧 Twitter)

